

社会教育人材ネットワークを活用した地域づくり活性化事業

現状

課題

- 令和2年度から社会教育主事講習を実施し、これまで行政だけでなく民間企業やNPO等、多様な人材が受講。計820名（令和7年度末現在）が社会教育士の称号を取得しているが、社会教育士人材の研修や交流の機会など、ネットワークの構築に課題
- 社会教育士の継続した学びやつながりづくりのニーズが高まっているが、広域な本道において各分野の専門性における活躍の場が限定的

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
122	168	114	120	145	151	820

生涯学習推進センターにおける社会教育士の称号取得者数

目的

道内各地の社会教育主事と社会教育士との連携はもとより、地域における社会教育人材同士のネットワークを構築させ、活性化を図ることで、地域づくりに資する活動につなげる。

事業内容

北海道社会教育人材ネットワーク事務局を北海道立生涯学習推進センターに設置し、**社会教育オーガナイザー（社会教育士）**を設置。また、社会教育主事を中心とした社会教育人材ネットワークを構築するため、**全道規模のフォーラム**や、道内4ブロックにおいて地域ネットワークを形成する**コンファレンス**を実施。さらに社会教育士が中心となった喫緊の地域課題の解決に向けた住民参加型イベントを開催。

（1）地域におけるネットワークの構築・活用に向けた検討会議の設置

社会教育主事や社会教育士を含めた各分野の専門家等、社会教育の実践を行っている委員で構成し、さまざまな視点から北海道における社会教育人材のネットワークの在り方等について議論
また、委員自身の取組を持ち寄り、地域課題解決の糸口を探るための事例研究実施

アウト
プット

社会教育士の実態調査・追跡調査

- 称号取得者に対して、活用実績や具体の取組などを取りまとめ

社会教育士の見える化

- 全道に点在する社会教育士に見える化し、地域活動における活用を促進

社会教育士の活用

- 全道の社会教育人材ネットワークを構築し、情報共有はもとより、協働的な活動に発展

（2）社会教育主事を中核とした社会教育人材ネットワークの構築・活用

北海道社会教育人材ネットワーク事務局の設置

- 道内における社会教育士情報のリスト化、HP周知
- 社会教育オーガナイザーがSNSやホームページを活用し、道内外における社会教育関連事業や好事例の情報収集と情報を発信
- 道内の社会教育士等の活動情報を収集し、社会教育情報を一元化
- 社会教育士の活動を支援するための学習相談

社会教育主事を中心とした研修とネットワークづくり

- <全道研修>
北海道つながる学びフォーラム
- <ブロック研修（道内4ブロック）>
北海道つながる学びコンファレンス
- ※道社会教育主事会協議会と連携

ネット
ワーク
を活用

（3）ネットワーク活用による地域課題に応じた具体的な取組の実施

本道における喫緊の地域課題に対して、様々な分野で活動している社会教育士のネットワークを活用しながら、社会教育士をはじめとした関係者が有機的に企画運営を行い、地域住民参加型のイベント（地域課題の解決に向けた議論やワークショップ等）を実施

社会教育士を中心とした**活動実践**とネットワークづくり

<住民参加型イベント>
まちデザインミーティング

NPO

社会教育士

民間団体

一般行政

民間企業

生涯学習推進センター主催講座とタイアップしながら社会教育人材の学びやつながりを支援

アウトプット（活動目標）

- ・社会教育人材ネットワークの構築により、生涯学習を行っている住民を80%に

アウトカム（成果目標）

- ・令和12年までに道内社会教育士1,500名を輩出
- ・社会教育人材の活用や質の向上
- ・社会教育士が関与する実践事例件数を5年間で50%増加
- ・「社会教育士の称号を活用している」「業務に役立っている」などの回答について8割以上

インパクト（地域への影響）

- ・地域課題の解決に向けた地域活動の活性化

北海道立生涯学習推進センターにおける 社会教育主事講習修了後のネットワーク

資料 2

社会教育士ネットワーク

SAPPORO（札幌市）

- LINEグループ28名
- 2ヶ月に1回程度定例会を実施

石狩社会教育士会（石狩市）

- 社会教育士が行政（教育委員会）と連携し、ワークショップ（新聞の回し読み）を实践
- 社会教育士以外も参画

北海道社会教育の輪（オンライン）

- R6修了生が中心となってSNSで交流（400名）
- 社会教育主事講習中につなぎづくり
- 道内外の受講生による自主企画

令和 8 年度社会教育主事講習を軸とした研修事業等

全 4 回

① 社会教育入門講座

- オンライン実施・一部オンデマンド配信
- 社会教育主事講習のプレ研修という位置付け。
- 全ての社会教育人材に必要な内容

社会教育主事講習

文科省委託

○ 全科目オンライン実施

- A 日程：7 月～8 月 ※平日実施
オンデマンド配信（生涯学習概論、社会教育経営論、生涯学習支援論、各 6 時間分）
- B 日程：10 月～1 月 ※土日祝を基本として実施
- 社会教育経営論、生涯学習支援論で実践的な社会教育活動を行っている社会教育士を起用。
- 社会教育演習のグループワークにおける時間を多く設定し、協働的な学びの機会を創出。



社会教育士



全 3 回

② 社会教育専門研修

- 対面とオンラインのハイブリッド実施
- 社会教育主事講習後の社会教育人材のより専門的なスキルを向上させるという位置づけ
- 社会教育主事の専門性を向上

「オンラインによる学び」と「対面による学び」の組み合わせ

< 社会教育人材ネットワークを活用した地域づくり活性化事業 >

1 日間

③ 北海道つながる学びフォーラム

- 対面及びオンラインで実施
- 社会教育主事講習のつながりを活かした自発的な学びをサポートするという位置付け。

4 日間

④ 社会教育実践型研修会 (文科省委託：社会教育士フォローアップ研修)

- 対面及びオンラインで実施
- 社会教育人材の社会教育活動の共有やつながりづくりを行う位置づけ

※実施回数や時期は予定

社会教育主事講習を受講しやすい環境整備
継続的な学習機会の確保

社会教育人材の資質・能力の更なる向上と多様な場での活躍促進